

《今後の事業日程について》

- 平成 28 年度のスケジュールについて説明があった。

《次年度以降の事業の継続について》

- 次年度以降の事業の継続について以下のような意見があった。
 - ・ 本学教員が担当している科目及び非常勤講師が担当している科目の一部は今後も継続が可能である。委員会やイベントについてどの程度維持するか意見をいただきたい。
 - ・ 外部評価委員から、非常勤講師が担当している科目は MBA 等でも開講されているため、アドテクを駆使したマーケティングを教える科目がよいのではないかと意見があった。基礎的な部分を事業アーキテクト科目で学んでもらい、PBL を通じて発展的な部分を学生自ら学んでほしいと考える。
 - ・ 受講者がまったくの素人であれば、基礎的な科目があってもよいと思う。
 - ・ 入学前に自学自習の目安を与えておくとよい。
 - ・ シラバスには到達目標や予め求められる知識を記載している。シラバスの内容を説明する場があってもよいと思う。
 - ・ ケース科目は予習があって始めて成り立つもので、事業アーキテクトコース科目以外にも取り入れるようになった。
 - ・ 起業塾や事業アーキテクトコース科目を今後も継続してもらい、自社の従業員に受講させたい。自社で同様の研修を行うことは難しく、他の業界とのつながりもできるため魅力的である。個人にアプローチして参加者を募るのではなく、企業に対してアプローチしてはどうか。
 - ・ 日本の企業では個人が学びたいと思っても正々堂々と学べないことが多いため、社会制度の改革が必要である。
 - ・ 文部科学省事業終了後もプログラム内容を整理した上で継続してほしい。
 - ・ 社会人教育のモデルを作ることが専門職大学院や産業技術大学院大学の役割である。内部教育やオープンソースコミュニティを実施してほしい。
 - ・ 認知度向上、マーケティングにより注力すべき。

2.1.3 第 8 回社会人学び直し推進委員会

- ・ 日時: 2017/03/23(木) 16:00-18:00
- ・ 場所: 産業技術大学院大学 308 室
- ・ 出席者
(産業技術大学院大学委員)

- 川田 誠一 氏(産業技術大学院大学 学長)
- 酒森 潔 氏(産業技術大学院大学 附属図書館長)
- 小山 裕司 氏(産業技術大学院大学 情報アーキテクチャ専攻長)
- 亀井 省吾 氏(産業技術大学院大学 特任准教授)

(外部委員)

- 井手田 信 氏(日本IBMシステムズ・エンジニアリング株式会社 アドバイザリー・アーキテクト)
- 但田 潔 氏(元 NEC マネジメントパートナー株式会社 人材開発サービス事業部エグゼクティブエキスパート)
- 菊池 純男 氏(株式会社日立製作所 ICT 事業統括本部経営戦略統括本部渉外本部本部長付)
- 為谷 素也 氏(横河電機株式会社 渉外室 担当部長)
- 岩田 真一 氏(ATOMICO 日本支社 代表)

- 議事内容

《起業塾#8、#9開催について》

- 起業塾#8、#9について開催実績の報告があった。
- 委員より、YouTube での配信を行わなかったが、その分参加者と密な話をする事ができたことと、スタートアップ企業とスモールビジネス企業が一緒に登壇していた点がよかったとの意見があった。

《最終成果報告講演会開催について》

- 1月12日(木)に実施した最終成果報告講演会について報告があった。

《事業アーキテクトコース9科目履修結果について》

- 事業アーキテクトコース9科目の履修状況及び授業評価アンケートの結果について説明があった。

《H28 事業アーキテクトコース PBL 配属について》

- 平成28年度事業アーキテクトコース PBL の配属について説明があった。

《H28 外部評価報告書について》

- 平成28年度外部評価の結果について説明があった。

《本事業プログラムの終了について》

- 文部科学省委託事業としての本プログラムの実施は今年度を持って終了となり、5 月末に文部科学省に今年度の報告書を提出する旨報告があった。

《次年度以降の取り組みについて》

- 次年度以降は、事業アーキテクトコースの教育プログラム及び起業塾については継続して実施する旨報告があった。

《その他》

- 委員より、このようなプログラムを修了した学生は、現場に戻ると同じような高い意識やスキルを持つ仲間が周囲にいないため孤立しがちなので、修了生同士が情報交換を行える場があるとよいつの意見があった。

2.2 プログラム開発委員会

2.2.1 第6回プログラム開発委員会

- 日時：2016/05/24(火) 16:00-18:00
- 場所：産業技術大学院大学 308 室
- 出席者
(産業技術大学院大学委員)
 - 國澤 好衛 氏(産業技術大学院大学 研究科長 創造技術専攻 教授)
 - 酒森 潔 氏(産業技術大学院大学 附属図書館長 情報アーキテクチャ専攻 教授)
 - 戸沢 義夫 氏(産業技術大学院大学 OPI 長 情報アーキテクチャ専攻 教授)
 - 小山 裕司 氏(産業技術大学院大学 情報アーキテクチャ専攻長 教授)
 - 越水 重臣 氏(産業技術大学院大学 研究科長補佐 創造技術専攻 教授)
 - 亀井 省吾 氏(産業技術大学院大学 特任准教授)
 (外部委員)
 - 平山 敏弘 氏(日本 IBM 株式会社 上級 IT スペシャリスト)
 - 小内 克彦 氏(株式会社東芝 営業統括部 デジタル・マーケティング推進室室長 兼 デザインセンター参事)
 - 大久保 雅司 氏(NEC マネジメントパートナー株式会社 人材開発サービス事業部 シニアエキスパート)
 - 上野 新滋 氏(株式会社 FUJITSU ユニバーシティ エグゼクティブ・プランナー)
 - 佐藤 学 氏(サイボウズ株式会社 BPM 部 コラボレーションエバンジェリスト)

- 花田 徳康 氏(メドコネクト株式会社 代表取締役)
- 鴻巣 英典 氏(株式会社 mediba 事業開発ユニット エグゼクティブプロデューサー)
- 鈮持 勝 氏(イー・リゾート 代表)
- 議事内容
 - 《平成 27 年度実績報告書・成果報告書の提出について》
 - 当該年度の実績報告書及び成果報告書の提出について説明がなされた。
 - 《平成 27 年度外部評価委員会評価結果報告について》
 - 当該年度の外部評価委員会評価結果について報告がなされた。
 - 委員から、本事業や大学自体の PR をより積極的に行い、ブランディングを確立していくべきとの意見があった。
 - 《新入生ガイダンス開催報告と事業アーキテクトコース履修状況について》
 - 新入生ガイダンスの開催及び事業アーキテクトコース履修状況について説明がなされた。
 - 《平成 28 年度事業アーキテクトコース PBL について》
 - 平成 28 年度の事業アーキテクトコース PBL について説明があった。
 - 各 PBL の進め方について、各教員から説明があった。
 - 小山 PBL の学生から、PBL での起業に向けた取組の状況について発表があった。次回以降の委員会では、戸沢 PBL 及び越水 PBL の学生による発表を行うこととした。
 - 委員より、今後の PBL の進め方について質問があり、小山委員より学生に課している課題や補助金申請の状況、事業化の予定等について説明があった。
 - 《第6回・第7回起業塾について》
 - 第6回 AIIT 起業塾について、「ファッションテック」をテーマとし、7 月 31 日(日)に秋葉原キャンパスでの開催を予定している旨説明があった。講師は株式会社集英社 長岡夏未氏、株式会社パルコ 佐藤貞行氏、株式会社ミニマル・テクノロジーズ 上森久之氏などを招聘予定。
 - 第7回 AIIT 起業塾について、「FinTech」をテーマとし、8 月 28 日(日)に秋葉原キャンパスでの開催を検討している旨説明があった。講師は NEC、日立製作所、TIS などから招聘予定。
 - 同時中継や録画配信について検討している旨報告があった。
 - 詳細が固まり次第、事務局より委員に案内することとした。